

local paper

川尻小学校区の魅力をお伝えする情報誌

2019年3月発行 vol.5

発行者 川尻小学校区ふるさと交流実行委員会

高 殿上 君知るや

みんなで作る
神様への道

たかてんじょう

きみしるや

vol.5

ごあいさつ

みなさんこんにちは。暖冬といえども西和賀には雪が降り積もっています。さて、第5号となります情報誌が完成しました。

ふるさとを離れた人とふるさとをつなぐ事業として発足したこの活動も3年目を迎えました。試行錯誤を続けつつの取り組みですが、前回取り組んで大いに盛り上がった「古地図づくり」を、委員だけでなく地域に住む方々や、出身者の方々と一緒にやろう！と、交流事業を企画しました。『ここなんだったっけな？』『あの人に聞いてみようか！』とやんややんや、大変おもしろい会ですので、みなさんぜひご参加ください。

暦の上では春ですが、みなさん油断せず、お身体に気を付けてお過ごしください。

上野々地区 どんと焼き

1月14日に「どんと焼き」と「新年会」を行いました。新年会は毎年成人の日に行います。

45人が参加し5名が還暦と古希を迎えられた方でした。今年は参加者も少し多く、新年を祝うことが出来ました。



湯川地区 仮装相撲

かつて「仮装相撲」が奉納されていた湯泉神社。ここ5～6年の間行われていませんが、今日でも復活を待ち望む声が止むことはありません。



天ヶ瀬地区 マブ落とし

屋根に積もった雪が垂れ下がってきた状態のことを意味する「マブ」。今年もマブ落としをする日々です。



柳沢地区 どんと焼き

1月20日に柳沢地区のどんと焼き。不幸があったためあまり派手には執り行わず、例年と比べて参加者も少なめでした。

川尻神社 道付け

暮れの31日、元朝参りのため、川尻神社の階段の除雪を、川尻1区2区の子供たちと父母会で毎年20年近く行っています。

子どもたちが狛犬の雪を払っている様子がわかります。



飲み屋もあったんだ
若い人がいたって
ことなんだなあ



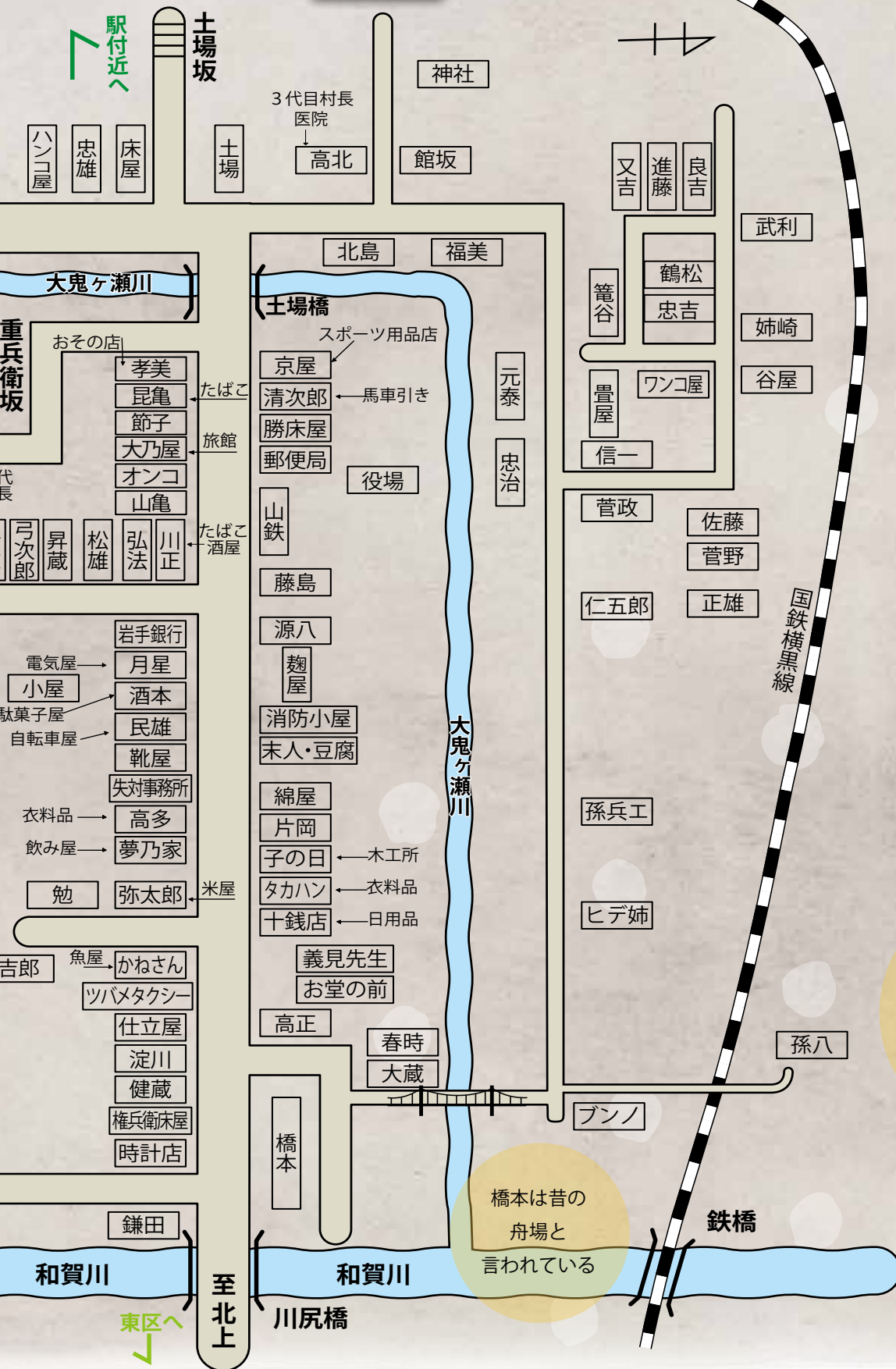
三代村長(町長)
高橋北民氏

古地図づくり

水没前の中区

※前号の地図は川尻駅前の地図でした。お詫びして訂正します。

昭和34年以前の水没前の中区付近の様子です。メンバーで集まって思い出しながら、作成しました。
お気付きの点や思い出話などあれば、ぜひ感想をお寄せください。



小学校の修学旅行の
こづかいを稼ぐために、
家を建て替える人の
材木運びをしたもの
だった…

旧湯田町/昭和30年頃



▲ 通り

「おその店」っていうのは、
おそのさんという
おばあさんがやっていた
お店だよ

至 横手



▲ 旧役場

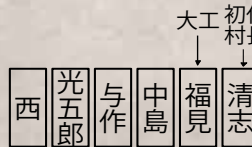
中区甚句

- 一、京屋に清次郎 勝床屋に郵便局
役場に鉄アンコ 藤島 源八に麴屋
トーフ屋に綿屋に 片岡 子の日
- 二、タカハン + 銭店 菅富 便所トラ
橋本にヤジ鎌田 健蔵に淀川 健仕立
かねさんに弥太郎に 夢乃屋 きりたんぼ
- 三、タエ子店に テイサンキ 銀行
川正に 山亀に オンコに大乃屋に原節子
昆亀に オソノに コンメヤゼンコーネヤー

▲湯田ダムができる前の川尻中区（地区名）、水没前の屋号を替歌にして歌った歌詞。五十嵐幸雄氏の録音テープ歌詞カードより
※前回掲載のものに間違いがありました。大変失礼しました。訂正したものを掲載しています。

上野々へ

至 上野々



▲初代村長
川村清志氏



▲水没直前の一跳地区、大黒線（現在の北上線）。
水没のため、上に移動させた。



▲ 大黒線 古瀬屋地区。

写真：山本幸男氏所蔵

至 川尻鉦山

田中 川端

川尻探偵団 1 ―高殿上はどこだ？

本情報誌のタイトルにもなっている「高殿上」。それは実際にどこのことなのか？ 地元の詳しい方に取材し、場所を特定する調査を行いました。



高殿上の思い出

高殿上のすそ野には広々とした平地が広がっていて、小学校のころには、春はハイキング、冬はスキーをして親しみました。
わらびもたくさん生えており、採りながら歩いたものです。

＊ ＊ 寄稿 ＊ ＊

本誌について、多くの方々から感想やアンケートを頂きました。ありがとうございます。その中から4名の方をご紹介します。今後もみなさまのご意見、ご感想をお待ちしております。

今回も懐かしく拝見させて頂きました。昭和30年と言えば、まだ小学校3、4年生かと思います。

土場坂、駅前の釣り橋、駅前商店街が思い出されます。花子店にはよく行きましたよ。コマ・カルタ・トランプ・凧。風はさっぱり飛ばなかったことを覚えています。スキーは、京屋さん言う店だったかな。金具(ガチャンコ)がすぐ切れるので、ヒモ、針金、バンドの皮に穴を開けて滑ったものです。

いつになるか分かりませんが、水没した役場周辺の写真、楽しみに待っています。時節柄、風邪などに気をつけて頑張ってください。

菊池長一 柳沢分校卒

私は、川尻中学を昭和30年に卒業し、卒業まで鷺之巣鉦山の社宅に住んでおりましたので、陸中大石駅から汽車で通学しておりました。「小学校は川尻小学校鷺之巣分校」したがって、陸中川尻駅の古地図をととても懐かしく拝見いたしました。出来ればこの後、小学校・中学校までの治道の家並みも分かるといいですね。

郵便局、役場、旅館、綿屋、薬屋、駐在所等々……。もちろん当時の写真などあれば、更に郷愁をそえられることと思います。現段階で、記憶をしっかりと記録に残したいですね。今後ともどうぞよろしく。

高橋國春 天瀬(鷺之巣) 昭和30年卒

故郷の皆様、良き年をお迎えになられたことと思います。高殿上の山も真白く、雪かぶって西和賀の町(川尻)を見守っていることでしょう。昨年送付されました古地図を見て屋号の呼び名が懐かしく思い出しました。

吊り橋は、土畑鉦山のトロツコが通るたび、揺れて怖かった!馬車が通る時も揺れて馬糞がホワーとある時もありました。土場坂の登り降りも、ツルツル滑り、子供でしたので慎重に歩きました。

中区甚句は、初めて知りましたがお店の名前がこれまた懐かしかったです。ありがとうございます。した。

服部厚子(旧高橋) 上野々3区 昭和39年卒

■川尻出身の作家さんから寄稿をいただきましたのでご紹介します。

ふるさとを舞台に小説を書くつと6年程前に川尻を訪ね、「和賀清流」と言っペンネームで多くの作品を書きました。和賀清流は「和賀川の清き流れ」からとりました。

川尻 大江隆 昭和32年卒 作家
著書:『69歳の「文章修行帖」』『55のエッセイとものがたり』など

「悪夢」

和賀清流

―下り横手行きの列車がまいります。
―ピョー、ポーッ。5両編成の列車がホームに近づく。二百メートルにまで迫る―。
その時、ホームにいる勝也の両の手が、前にいた大人の背中を押した。男はフワッとを描いて線路に落ちた。

続きは下記QRコードへ
紙面で読みたい方は委員会事務局へ



私には高殿上の思い出は2つあますり。その1つは、高殿上のマブ落としです。

昭和21年頃、学校を終わってまだ職も決まっていなかった頃、川尻保線区より除雪人夫の募集があったので、採用してもらったのです。

吹雪が続く2月の中旬。佐々木松五郎保線副長が八名を指名し、今日は「高殿上のマブ落とし」と指示があり、その中の一人でした。

弁当を背負い、スコップを担いで鉄橋を渡り、トンネルを歩いてしばらく行く。雪崩の危険な場所付近から、まず経験者が先頭になって登り始めるも、雪の多いのと急な斜面に思うように進まず、先頭を何回も交替しながら少しずつ登り、一時間以上かかってやっと山頂にたどり着く。

山頂は湯本方面からの北風が止むことなく、地面はアイスバンになっていて、南斜面には物凄い大きいマブが出来ていた。佐々木副長の指示で、マブの上部へ横一列、3メートル間隔位に並び、それぞれ下部に向かって、1メートル幅位の溝を掘るのでした。

溝を半分位掘ったところでお昼の時間となり、嵐を少しでも避けようと、掘った溝に集まって食事をとりました。そのとき佐々木副長は、少しでも暖を取らせようと、枯れ枝を集めて火を焚いてくれました。そのうち強風が来て、灰が舞い上がり、白い弁当が胡麻を振り掛けたようになっていましたが、その弁当を見て誰も何も言わず食べ終え、作業にかかるのでした。

それから一時間位で溝切り終了、いよいよ待

望のマブ落とし開始。溝と溝の間にある大きなマブに、両側からスコップで切り目を入れると、大きな雪の塊が一気に滑り落ち、その豪快さに歓声が上がります。次第に作業にも慣れ、全部落とし終わって見ると、広い場所ができて、山が小さくなったように見えるのでした。

保線区の皆さんは、どんな状況にあっても、常に線路の安全を守る為、細心の注意を払っていることを知らされた一日でしたし、自分では経験することの出来ない、貴重な体験だったことを、いまでも嬉しく思い出されます。

もう一つの思い出は、高殿上の頂上に設置する標柱（コンクリート製の核柱とその底盤、それぞれ十キロ程度）を背負いあげたことです。

昭和51年6月、鉾山を退職していた頃、高橋喜一さんから石運びの話があって、2人でやることにしたのでした。測量業者さんから高橋喜一さんに入った話で、川尻近辺の山々に石を運び上げる仕事でした。

どの山も石を背負って登るのは、楽ではありませんでした。特に高殿上は高く登る距離が長く、傾斜が急で思うように進みませんでした。途中で荷をおろし休憩、そしてまた登る、しばらく登ってやっと山頂の仮杭の場所にたどり着いたのでした。

荷を下ろして無事に登り切ったことを、喜一さんと共に喜び合いました。あの標柱は今も川尻地区を見守ってくれているような気がします。

お知らせ

『ダム移転前の川尻の古地図復活に向けた語る会』参加者大募集

旧川尻小学校区出身者を対象に「ふるさと交流・放談会」を開催します！ ほぼほ飲み会?? 気楽にご参加下さい！

【開催場所】上野々公民館

【申込締切】3月11日

【会費】2000円（お振る舞い有ります）

【申込先】西和賀役場 Tel 0197-82-2111 担当：真壁・近藤

発行者 川尻小学校地区ふるさと交流実行委員会

連絡先 西和賀町ふるさと振興課 岩手県和賀郡西和賀町川尻 40-40-71 tel 0197-82-2111

